

いこいの村 木本やエッ

題字 梅の木寮（従来型）

2010年（平成22年）10月20日発行

第341号

発行責任者

いこいの村聴覚言語障害者センター

所長 柴田 浩志

いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

編集



いこいの村 それぞれの敬老会

梅の木寮(従来型・ユニット型)・栗の木寮・綾部東部ディサービスセンターにおいて
敬老祝賀会を行いました！

それぞれ和やかに長寿のお祝いをしました！！



「ごはん、食べてないんや」



単なる物忘れと認知症の物忘れの違いって?
誰にでも、昨日の夕食に何食べたか覚えていないことは、一度や二度はあるのでは

ないでしようか。しかし、タ
食を食べたことは覚えていま
すよね。認知症になると「体
と自体を忘れてしまうのです。
覚えていられない、記憶で
きない認知症の方に「さつき
食べたでしよう」と言つても、

覚えていないので、自分の思
いが分かつてもらえないため
に余計にイライラされるので
す。



援助者はまず、その方の訴えを素直に聞く、そして受け入れることです。決して間違いを正すといった態度や否定をしてはいけません。

認知症の方は、常に不安と混乱の中で生
活しているのです。そのことを理解して、接することが何よりも大切なことです。

(認知症対応型グル
ープホーム開設準備
チーム)

金子 泰治

認知症の方との関わり方 「想いを受け入れる」

「今年も始まりました！」

当日は、京都生協職員・組
合員、地域でお世話になつて
いる共同生産者の方々総勢一
〇〇名を越える参加者でした。

今年のしめなわの生産総数一
七、五〇〇本と売り上げ目標
七五〇万円を達成するため、
みんなで達成に向けて気持ち
を一つにしました。

しめなわの機で
生産アップ！



(栗の木寮 秋葉陽介)



健康の豆知識

夏バテは
秋にやってくる?



疲れが一気に出でてしまい、遅めの夏バテ(秋バテ?)になってしまふ人も多いのです。

今からでも遅くない!

元気に秋を過ごす

4つのポイント

①食事

『スーパー猛暑』スーパー残暑』等の新語を作り出すほど異常な暑さの続いたこの夏。たくさんの方が夏バテに悩まされたのではないでしょうか。

長かった夏が終わり、ようやく涼しくなりましたが、まだ気は抜けません。

夏バテしている体に初秋の不安定な気候が重なると、体力回復どころか、余計に体調を崩してしまいます。また、

冷たいものばかり食べたり(飲んだり)していた人や、一日中冷房の効いた室内にいた人は、体の中(胃腸や内臓など)が冷え、体全体の働きが低下しています。そうして、夏の暑い季節は何とか乗り切ることができるても、少し涼しくなりはじめた初秋に、体の

弱った胃腸の働きを整えるためにも、冷たいものはなるべく控え、温かいものを摂るようにしましょう。

②入浴

一日の疲れをとり、眠りにつきやすくなるためには、約三七・三九度のお湯での入浴(半身浴)がおすすめです。

秋は、夏の疲れを回復させ、冬の寒さに備える季節です。夏バテを引きずつたまま秋を過ごし、寒い冬へ突入すると…。いつの間にか、夏バテが“慢性”疲労になってしまふかもしれません。疲れた体には、十分な栄養と休養を心がけてください。

④睡眠
初秋は、季節の変わり目で自律神経も乱れやすく、よく眠れない、寝つきが悪いという人も多いようです。朝一番に太陽の光を浴びることで、夜眠りにつきやすくなります。

③運動



冷房の効いた室内にばかり居ると、汗をかかなくなり、血行が悪くなってしまいます。すると、体内に疲労物質が溜まり、疲れやすくなるのです。

ウォーキング等軽い運動をし、適度に汗をかくようにします。

(梅の木寮医務係

阪田正子)



いこいの村
聴覚言語障害センター
所長 柴田 浩志

現在、いこいの村が保有する公用車は、四十二台。農作業、ティサービス、配食サービス等、全ての事業において車は欠かせません。この他、百八十八人の職員は毎日、自家用車で通勤しています。そのため、職員の安全運転の意識を高めようと、今年春の全運転啓発活動に引き続い取り組みました。

今回は、午前八時~八時三〇分までの三〇分間、十倉交差点付近、いこいの村の入り口である「耳の門」付近の二か所に、各々二名の職員が安全運転のたすきをかけて立ち、のぼりを持って、出勤時の職員に安全運転を呼びかけました。

立ってみると、交差点を曲がる時、減速しない車や、赤信号に変わる直前に、交差点に進入する車もあり、危険を感じます。耳の門から、いこいの村の敷地に入るカーブを大きく膨らむ車もあります。

また、耳の門のところに植えられているイチョウの木の枝やヤナギの枝が長く伸びて視界を遮り、安全運転に支障をきたすこともわかりました。地域の方から「お疲れさん」と声をかけていただきたり、綾東幼稚園に通う園児が車の中から手を振ってくれ、私たちの啓発活動にも力が入ります。

これから季節、秋から冬にかけて、雨や雪などにより道路状況が悪くなっています。職員一人一人が交通法規の遵守に努め、安全運転を励行してまいります。



